

独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 24 年度第 4 回）議事録

日 時 平成 24 年 8 月 31 日（金）10：00 - 11：30
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 末松誠理事 門田守人理事 中釜斉理事 荒井保明理事
小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I. 理事会（平成 24 年度第 3 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を門田守人理事と小野高史監事をお願いした。

II. 報告事項

1. 独立行政法人評価委員会の評価結果について
 - ・厚生労働省独立行政法人評価委員会において平成 23 年度業務実績の暫定的な評価結果を受けた旨の説明があり、続けて評価結果について説明がなされた。今後確定した評価結果と報告書の内容を検討し、次年度に向けて、より高いところを目指して行くことが必要との意見もなされた。
2. 平成 25 年度予算概算要求について
 - ・運営費交付金の要求額、特別重点要求等について説明がなされ、委員からこのまま予算を削減され続けられれば中期計画も達成出来なくなる可能性もあるとの意見も出されたが、平成 25 年度予算概算要求の要求額、内容については了承された。
3. 創立 50 周年記念イベントについて
 - ・創立 50 周年記念式典のみでなく、職員としてこの 50 周年を機に新しいスタートを切る意味で、創立 50 周年記念イベントが企画され「がんの今と、これから」をテーマに実施されること及びイベント内容の説明がなされた。
4. 情報提供に関する企業との包括協定について
 - ・情報発信の方法として、拠点病院を軸に印刷物を配布しての情報発信、あるいはホームページによる情報発信などで進められてきたが、独法化後より民間企業とのがん情報の普及啓発等に関する包括的連携に関する協定の締結を行い、既に実施している協定内容及び今後の協定による情報提供の方法等を含め説明がなされた。

5. 月次決算(7月分)について

- ・7月分の月次決算の状況説明に加え、今回は経営指標を作成し収益性・健全性・効率性・生産性についても説明がなされた。また、研究収益については研究費が入ってきた月に一度にまとめて収益に計上されているものがあり見かけ上黒字に見えてしまうことから、実際の費用発生に併せて収益化していくべきとの意見が出された。

6. 病院運営状況報告(7月分)について

- ・中央病院及び東病院の7月分及び4～7月累計の診療費請求額、患者数、病床稼働率等が報告され、昨年と比較して診療報酬点数が上がったことにより1人当たりの点数も上がっていること及び7月に入ってから患者数が増えたこと等の報告がされた。

7. その他

- ・平成24年8月7日に閣議決定された「国家公務員の退職手当の支給水準引下げ等について」説明がなされ、退職手当の官民格差の解消を図るため支給水準の引下げを行うこと、独立行政法人に対しても同様の措置を講ずるよう要請がされることについて報告がなされた。
- ・人事院勧告の給与勧告について、支給については民間との格差はないため改定はないが、50歳代後半層の昇給停止等の説明がなされた。

Ⅲ.審議事項

1. NCCの意思決定における理事会の位置付けについて(案)

- ・新日本監査法人より、理事会の位置付けについて独立行政法人通則法では法人の意思決定は法人の長の権限と責任において実施するとなっているが、センターの規程では理事会はセンターの業務の運営に関する重要事項を審議・決定するとなっており、独立行政法人通則法の趣旨に反するのではないかとの指摘を受けたことから、理事長に最終権限がある旨を明確にするため、センター組織規程及び理事会規程の改正を行うことについて説明がなされ、改正の方針について了承され、今後、他のNC等の取扱いを踏まえ検討を行っていくこととされた。

2.その他

- ・50周年記念の一環として、「がん資料館設立準備委員会」を立ち上げ8月29日に第一回の委員会が行われたことの報告がなされた。
- ・センターの診察を受ける外国人の診療費について、今後、検討を行っていくことの報告がなされた。